



萩の江だより

第278号

編集発行責任者
社会福祉法人 方光会
萩の江
障がい者支援施設
施設長 川村 護

岩手県北上市和賀町藤根14-144-15
電話 (0197) 71-7066
<http://houkoukai.jp/index.html>

主な内容

■ トピックス	■ 愛の泉通信	■ 和賀の園通信	■ 萩の江通信	■ 北萩寮通信
.....
10面	8面	6面	4面	2面

「僕のスイーツ召し上がれ」 和賀の園 ～愛がこもっています～

万華鏡

「人は誰でも
歳を取る」

「少子化・高齢化」はとかく問題視される世の中ですが、ある本に「長寿

は本来喜ばしいことです。障がいがあっても無くても、高齢になればいろんなサービスマや支援を求めたいも、決して「高齢化対策」を求めているわけではありません。あくまでも1人ひとりが、人生や生活を豊かに、いきいきと歩んでいける支援が出来るかという視点を持つべきです」と書かれています。万人用の「高齢化対策」ではなく、個々に合った個々の望む支援ということとなります。

高齢期以前の壮年期、青年期、学齢期、幼年期でもそれぞれ個別の重視や個人の意思の優先の生活があつての流れで、年を重ねていくことが出来れば、そして支援する側も、それに沿って支援出来ることは幸せなことです。自身が高齢者なので自身のことを考える時、「A・Bさんはどうだろう」と想いを寄せていきたいと思

(沢口)

利用者・職員紹介！～これから宜しくお願いします～

新
職員



きくち ちか
菊池 知佳さん



わこう しんぺい
若生 晋平さん



やえがし りみ
八重樫 里美さん

新
利用者



おおつき しゆんと
大槻 隼翔さん



こんの まさゆき
昆野 雅行さん

新利用者紹介

12月21日から昆野雅行さんが、4月1日から大槻隼翔さんが新しく北萩寮の仲間に加わりました！皆さん、宜しくお願いします！

(晃嘉)

お疲れ様でした！

昨年4月から、北萩寮で勤務されていた小笠原涼太さん、調理で勤務されていた高橋由美子さんが退職されました。

涼太さんは、納豆製造に従事され、施設運営で欠く事の出来ない重要な役割を担当されました。また、明るく気さくな性格から、利用者からも人気がありました。

由美子さんは、給食の調理補助に従事されました。毎日、49名にも及ぶ大量な食事を用意下さいました。都合による退職ですが、お2人のさらなる発展をお祈りしています！お疲れ様でした！

(晃嘉)



春の商品をお取り替え
お待ちしております！



フレッシュな新商品！



コーヒーのお供に
パイはいかが？

Face book
更新中



「いいね」お願いします！

今年3周年を向かえるベーカーショップは、春・夏の限定商品がいっぱいです。いちごミルククリームを使ったいちごメロンパンにいちごチョコレートコーティングしたドーナツは、苺の甘ずっぱさもありますが、優しい味に仕上がっています。爽やかな味わいのシャインマスカットソーシユも好評です。アプリコットパイは、甘酸っぱいあんずのジャムが口いっぱいに広がります。ミルキーパイは、甘党の方にお薦めです。6月には、オープン3周年イベントを行う予定ですの、楽しみにしてください。

(久美)

自主生産物の今
siki o i s



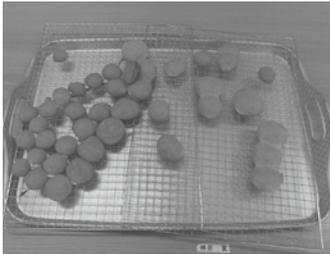
みんなで楽しくエクササイズ!

コロナのワクチン開発により、少しずつ希望が見えてきた今日この頃ですが、そんな中屋内で取組んだ、余暇活動の内容をいくつか紹介します!施設のゴミで毎日出るペットボトルを使い、マラカスを作りました。今後の余暇活動や、スポーツ大会等の応援グッズとして活躍しそうです!

ホットケーキミックスを使って「クロカンブッシュ」というお菓子作りをしました。焼きあがったお菓子の甘い良い香りに自然と笑みがこぼれていました!その他、鬼のお面作りやエクササイズに取組みました。これからも楽しいと思つて貰えるような活動にしていきたいです!(亮嘉)



Yeah ~!



色々な形が出来ました!



出来ました~!



さて、何を描こうか...



上手に入ったよ!

余暇活動 コロナを吹き飛ばせー!!



よし、いい感じだ!



見本を見て色を付けよう!



ちょっとつまみ食い(笑)



みんなでチョコをぬりましょう!



就職おめでとう!

お弁当の盛り付けを主として取り組んでいましたが、食材によって盛り付け方が異なる為、それら一つ一つに対応していくことに難しさを感じつつ、楽しさも感じていたと振り返っていました。

最初の実習以来、約1年越しに就職へとこぎ着け、北萩寮職員共々、嬉しく思っています!

今まで経験したこと、学んだことを十分に活かして、就職先での活躍と更なる発展を期待して、勇斗さんを送り出します。

(祐貴)

**就職
おめでとう!**



「いつも笑顔のYさん」

初めて福祉の仕事に携わった私はYさんの担当になりました。前任者の先輩職員から支援方法を教えて頂き、実践を重ね1年になります。

「大変な時でも大変と言わず、痛みがあつても少し無理をしてもいい所があります。」

Yさんはとても手先が器用な方で、洋裁の学校に通っていました。当時の話や、お母様が和裁をされていた事などの、思い出話をよく聞かせてくれます。

ある日、Yさんから手編みの星形のコースターを頂きました。思いがけない頂き物に喜びを伝えると、少しはにがんだ表情で「いいのだ」と言。こんな書き方をするのは失礼かもしませんが、フツと癒された瞬間でした。

癒されることといえばもう一つ、Yさんは出勤後に、製造室のガラス張りの所で、満面の笑みで「おはよう」と手を振ってくれます。作業中、手を離すことができない私は、笑顔で手を振り返し、今日もYさんに癒され1日が始まります。私も、Yさんや利用者の皆さんにとって、心地よい職員でありたいと思います。

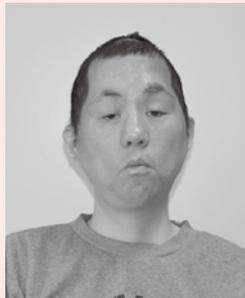
(優)

燃えろ！冴えろ！輝け！

令和3年度・自治会役員紹介



通所部・会長
おいかわ
及川 ひろみさん
「毎日健康に努めます！」



入所部・副会長
さかの あきひろ
佐ヶ野 昭広さん
「体操を頑張ります」



入所部・副会長
おおやま やすこ
大山 靖子さん
「元気に挨拶します！」



入所部・会長
おだしま あきひろ
小田島 昭博さん
「みんなの力を借りてやります」

令和3年度の自治会役員として、選挙で選出された4名（入所部3名、通所部1名）を、新年度に向けての抱負と共に紹介します。



花が咲いたら～♪



もう、始まっている？

4月1日に令和3年度の新体制がスタートしました。昨年は新型コロナウイルスの流行が懸念されていましたが、幸い感染者も少なく今年度を迎えられました。今年度から新しい体操として「パプリカ」を取り入れられ、心機一転して今年1年頑張つていきます。
(知世)

**パプリカダンス
はじめました**



看護職員
ちば ふみこ
千葉 富喜子さん



生活科2班
たかはし
高橋 ほのかさん



農産科
ふじわら たけみ
藤原 武巳さん



〔通所部へ〕
おおくほ あきひろ
大久保 晶広さん



調理員
おおはし
大橋 あすかさん



調理員
うちだ ゆかり
内藤 有香さん

新しい職員の紹介です！

「よろしくお願ひしますー！」

アート教室



上手に出来たよ！



あと少しで完成♪

2月3日、萩の江会議室にてアート教室が行われました。
兼子博子先生を講師にお招きし、参加した利用者らもが、「サーージュ」に取り組みました。
先生の心優しい御指導のもと、綺麗な花の「サーージュ」が出来上がり、皆さん大満足な様子でした。
(由美)

祝・当選

ある日突然、萩の江に大きな段ボールが届きました。開けてみると、そこにはぎゅっしりと詰め込まれたトイレトイレットペーパーが、なんと100個も！日用品担当の職員が注文していたものかな？と思いましたが、実はこれ、全国牛乳容器環境協議会主催「紙パック回収」がありがとうキャンペーンによるもの。見事当選していたのでした。キャンペーン主催の全国牛乳容器環境協議会には正面玄関などに設置してある牛乳パック回収ボックスを提供して頂いています。皆様に協力して頂いた牛乳パックは和紙や椅子作りに再利用しています。今後もご協力をお願いします。
(千葉)



100 ロール見事当選☆

ひな祭り

2月5日、女子棟で雛人形の飾り付けを行いました。皆さん嬉しそうな顔で雛人形を並べていました。
(絵理)



1年ぶりだね！

どうか
安らかに・・・



優しい笑顔

平成21年より入所されていた齋藤敦子さんが、3月28日、虚血性心不全の為、入院先で永眠されました。77歳でした。いつも得意の歌で、場を盛り上げてくれた敦子さん。楽しい思い出を有難うございました。
(美奈子)

こちら通所部です！



私、上手!!

令和3年2月18日のお楽しみ会にて「クッキング、餃子作り」をしました。今回はキャベツではなく白菜を使ってみました。包丁で野菜をみじん切りにするのは難しいので、今回は秘密兵器の「手動みじん切りカッター」を使用し、交代で紐を引いて切りました。
出来上がった具を皮で包むのですが、ひだを付けるのが難しいので、半分に分けて包むことにしました。中には上手にひだを寄せて、包む利用者もいました。「難しい」と言いつつも、自分が食べる分は包むことが出来たと思います。今回はホットプレートで囲み、焼きながら、熱々を食べる事が出来ませんでした。次回のお楽しみ。
(真貴子)



「誕生日」

女子利用者は、お話しが好きな利用者が多い中で、私が担当のSさんは片言しか話す事が出来ない為、シエスタマーで伝える方です。ユニークなこだわりもたくさん持つことで、玉手箱の様なバツの中からは、いろいろな物が飛び出して来ます。担当前は、顔を見て泣いたり、話を聞いてもらえなかつたりと意思の疎通が難しい利用者でした。2年経つた今では仲良くしてもらっています。

3月30日はSさんの73歳の誕生日だった為、ケーキと風船をプレゼントしました。利用者の皆さんに「ハッピーソング」を歌ってもらい楽しい誕生日を迎える事ができました。

今年度から担当が変わりますが、Sさんの事は見守っていきたく思います。
(倉田)



春がくる

豆まきとちらしずし（ひなまつり）の間には、チョコレイトがあるのです。これはとっても大事なことです。

今年もみんなでチョコを使ったお菓子を作っておいしくいただきました。

（英樹）

パレシタイン調理実習



準備はオッケー？



パキパキ割って



キンチョーするなあ

春がきた

今年は、雪が多く寒さの厳しい冬でした。その為、雪溶けも遅く、中々採りに行くことが出来ませんでした。ようやく雪も溶けて、ばっけが顔を出し始め、職員、利用者で協力し沢山のばっけを採る事が出来ました。春の味をお試しあれ。

（翔喜）

ばっけ採り



かかれー！！



あった あった



豊作でした



まずは塩をかけまーす

「ソルトペインティング」に初めて取り組みました。台紙に木工用ボンドで絵や文字、模様を描いてそこに食塩を撒いてかぶせます。しばらくして撒いた塩を除けるとボンドと塩の敵が残ります。そこに絵の具を垂らして染みこませていきます。

（英樹）

ソルトペインティングをしてみました



ラベル貼り
作業①（木べら）

「ワールド企画さんの作業を紹介します。タオル畳みや、商品へのシール貼りを皆で協力して、取り組んでいます。

（翔喜）

作業紹介



できた！！



絵の具を垂らして、と



ラベル貼り
作業③（スプーン）



ラベル貼り
作業②（フォーク）

令和3年度の新役員です



書記 加藤 直斗さん



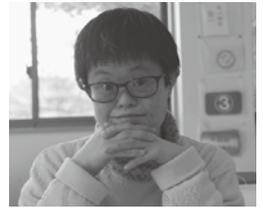
副会長 村上 ユカリさん



会長 高橋 嘉恵さん



副会長 小田島 敏子さん



書記 秋野瀬 幸枝さん



誰にするかなあ

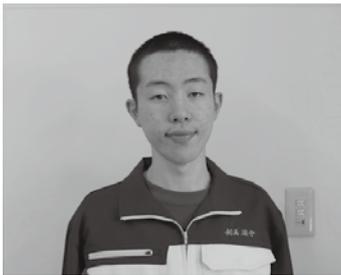


おれはやるぜえ！

和賀の園の自治会役員選挙が3月23日に行われました。当日の朝の会のあと、演説会が設けられました。立候補者がみんなに挨拶をして、各々の抱負や理想を述べて支持を訴えました。
今回決まった役員の方皆さん、1年間よろしくお願います。

(英樹)

自治会総選挙



新美 雄介さん

4月から花巻清風支援学校から新美雄介さんと長谷川琴美さんが新しい仲間になりました。
2人は以前実習にきていたこともあり、あつという間に周りの利用者や職員に打ち解けています。とても元気な2人をどうぞよろしくお願います。

(真樹)

利用者紹介



よし 決めた!!

人事

ようこそ！ 和賀の園へ

4月1日より、八重樫麻美さんが生活介護の職員として勤務されています。
どうぞよろしくお願います。

(真樹)



八重樫 麻美さん

退職

高橋正弘さんが都合により3月31日で退職されました。長い間お疲れさまでした。

(英樹)

退所

伊藤嘉克さんが2月15日退所されました。

(英樹)



「成長」

私は食堂ひだまりに勤め始めて1年半になります。
1年半前、利用者のRさんはとても恥ずかしがり屋で、「洗剤お願いします」と職員にお願する仕事も顔や耳を真っ赤にしてトキドキしながら言ったり、自分から挨拶することもできませんでした。
しかし、数ヶ月前からホールの仕事を任されています。最初は大きな声を出す勇気もなく躊躇していたのですが、今では誰よりも早くお客様に気付き「いらっしゃいませ」と大きな声で挨拶できるようになりました。朝の挨拶も1人ひとりにしてくれたり、帰るときも自分から「お疲れ様でした」と言えるようになりました。
自信をもって仕事をし、頑張って成長しているRさんを見ていてとても嬉しいです。
私もRさんを見習って、メニューの考案や味付けの工夫など調理員としてもっと成長していきたいです。

(美希)



お出かけ特集

焼肉～買い物～そしてパフェ



あつと言う間に 肉消失

コロナ禍で外出制限が掛かる中、少しでもストレスの発散になればと、GHひばりの面々と外食へ行ってきました。外食先の希望を聞いた際に「間髪入れず「肉！」と強い意見を頂いたので、近所の「やまなか家」に決めました。ランチには少々早い午前11時。開店と同時に入店し、店員さんをお願いして一番奥の個室を利用して頂きました。それぞれビールやジュースを注文し、ランチセットと肉1キ口盛りを注文。席に届けられると瞬く間に胃袋に吸い込まれていきました。今回は腹5分目で済ませてもらい、また次を楽しみにしようということになりましたが、次は何キ口の肉が必要になるのやら…。これで少しはストレス発散になったように良かったです。

(柏葉)



鬼滅グッズ どれにしようかな

3月14日にMさんが希望した花巻のヨーカドーへ出かけました。他にもYさんとTさんが同行し、女性4人で出発。外食も兼ねて途中のカップパ寿司花巻店で昼食を摂りました。この1年はコロナウイルスに翻弄された年で、愛の泉としては感染症対策のために、支援者だけでなく入居者にも規制がかり、生活に支障が出て不便がありました。そのため、市外へ出かけるのは久しぶり。感染症対策として事前に購入する物を考え、時間がかからないように配慮しました。

(関山)



そのステーキ 何グラム？

雲（コロナ）の切れ間の3月7日にしらゆり3名、20日にあじさい3名、それぞれ外食に行ってきました。希望を聞くと「お酒が飲める所」「ステーキ」「ケーキ」「アイス」「パン」「ご飯」等々。何がなんでも「安い所」等々で食べるのができました。

3月20日、GHひばりのHさんとSさん、GHもみじ寮のIさんとGHきららのYさんで外食に出かけました。場所は、以前愛の泉に勤務していたお馴染みの城守さん宅でした。城守さんが居酒屋を営んでいることをほとんどの皆さんが知らなかったため、「何で城守さん家（ち）なの？」と言われて、何度か説明が必要でした。普段はランチをしていないのですが、今回は特別にランチを用意して頂きました。



パフェおいし～♡

10目のビール、食事、デザートに幸せを感じ「おいしい」「久しぶりだ」と黙食を忘れ思わず声に出してしまう入居者や、言葉を忘れ一心不乱に食する入居者など各々外食を堪能していました。

(片方)

予算以上の豪華なメニューで、特にとんかつの分厚さには皆笑みがこぼれていました。そして、居酒屋なのでもちろん屋から生ビール。とんかつの入る隙間を残しつつ、楽しく美味しく頂きました。後で聞くと当日の夕食を少し減らした方もいたようです。城守さん、無理を言っとうち営業して頂き、ありがとうございました。またお店貸切で利用させて頂きたい。

(柏葉)

市内の某ハンバーグチェーン店に、入居者3人と行ってきました。人混みを避けるため、11時の開店と同時に入店しました。
久しぶりの外食でしたし、入居者3人中2人は初めての店という事で「久しぶりだね」「美味しいのかな?」とわくわくした様子でした。



久しぶりの外食!

人事異動

ささき ようこ
佐々木 陽子さん

4月1日付で、萩の江から愛の泉に異動になりました。



普段は色々と話しながらの食事ですが、コロナ感染防止のためいつもよりは静かな食事でした。食べた後の感想は「初めてだけど美味しかった。ファンになった」「久しぶりの外食は良かった」と高評価でした。コロナの関係で外食は難しい時期ですが、少しでも入居者が充実した生活になるようにコロナ対策を講じた上で、できる限り外食ができればと思っています。



やっぱり締めはパフェ♡

(巧)

新世話人

たかはし ひろのり
高橋 博憲さん

4月からGHもみじ寮の世話人として勤務されています。

退職 (相談萩の江)

つしま たけひと
津嶋 勇士さん

3月31日付で相談支援事業所萩の江を退職されました。

地域活動支援センター

いきいき

萩の里

わくわく

新年会



祝・満開!!

1月10日、この日は新年に入って初めの萩の里であり、またコロナウイルスによる長い休業明けでもあったため、皆さん笑顔で再開を喜んでいました。午前中に神社へのお参りや、絵馬に願い事を書くなどした後、みんなで昼食を食べました。

その際は、1人ひとり今年の抱負を発表しました。午後には、すごろく・カルタ・福笑いなどをして、久しぶりの萩の里をみんなで楽しみました。

(菅原)

節分お楽しみ会

2月7日、この日は節分お楽しみ会として、みんなで節分の色紙を作りました。最初に折り紙で鬼・福の神・柊翫を作っています。難しいところもあったので、そこは職員が手伝いました。その後はそれぞれ色紙に貼り付けて、顔を描いたりシールを貼ったりしています。完成後にみんな写真撮った後、豆まきも行いました。とても充実した活動で、皆さん喜んでいました。

(菅原)



皆さん上手にできました

「コロナとの向き合い方」

令和2年度を振り返った時に出てくる言葉は「新型」コロナウイルス対策」の一言に尽きると思います。GHの入居者は市内の様々な福祉事業所だけでなく、一般就労している方も複数あります。それに各GHの世話人や支援員も加えれば、60名を超える大所帯です。

昨年5月の全国緊急事態宣言に始まり、外食・外出の規制や解除を繰り返してきました。入居者だけでなく、支援者側も検温や行動記録を取るなど感染症対策としてのマニュアル作成に取り組みました。我々も負担を感じる1年でしたので、休日が楽しみな入居者には余計にストレスや不満が募ったことでしょう。北上市内での発生が落ち着いている現在は、支援員同行で混まない時間帯に出かける等の対策を講しながら外食を実施しています。

地域生活、居住の場であるGHが入居者にとって少しでも居心地の良い場であるように取り組んでいきます。

(関山)



稲葉神社

萩の江小景

萩の江の隣に稲葉神社があります。そもそも、萩の江が位置する藤根地区は、ずっと呼ばれる湧水が豊富で、ワサビ栽培もおこなわれるほどです。稲葉神社の敷地内には、その湧き水から流れる池があり、その中央には中島があります。また、境内には、樹齢500年といわれる杉の巨木があり、この地域の心の拠所となっております。

ざぜん草の里



稲葉神社の東側には、ざぜん草の群生地があります。地域の方々が大切に守り、3月には多くの見学者で賑わいます。ざぜん草は、その形から、仏像の光背のような姿を想像させてくれます。今年には雪が多く、硬く締まったため、例年より遅く開花しました。是非、足を延ばして見学に来てください。(護)

方光会ギャラリー



はくの作品展、はじまるよ!

今回は和賀の園のペーパークラフト職人・小原健さんを紹介いたします。ハサミとのりだけで細かい部品を組んで、写真のような作品を構成していきます。(英樹)

和賀の園のペーパークラフトマイスター



制作途中で



ハサミだけで、ここまで!



こういう感じで作ってます

「萩の江だより」第278号をお届けします。昨年のお頃は、志村けんはもういない。布製自作マスクが紹介され始めていた。アマビエはまだ有名になつていない。ずいぶんと遠くに感じます。(英樹)

編集後記



迷い込んだような、錯覚



健さんのつくった街